

## 職員による自己評価

## ○環境・体制整備

- ・活動の刺激となる備品などをキャビネット内に入れた事により児童たちの回避行動減少に繋がっている
- ・整理整頓が成される環境を作る事で児童の安全確保が以前よりもされてきている

## ○業務改善

- ・ハートリンク全事業所合同で年4回の研修会の実施
- ・事業所単独で月1回の研修を実施してスキルアップを図る

## ○適切な支援の提供

- ・送迎や電話、保護者面談で児童の情報収集を行う
- ・定期的にケース会議を実施

## ○関係機関や保護者との連携

- ・学校公開日などの行事に参加して他機関との繋がりを作る
- ・相談支援員の方等、情報交換をして連携をとっている

## ○保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者会などは開催していないが親御さん参加のイベントを年2回ほど開催している。
- ・日々の支援内容記載した指導記録の配布を毎月行う事で事業所での取り組みの共通認識を図る

## ○非常対応

- ・様々な災害（地震・火災・津波・不審者）などを想定した防災訓練を年2回の決められた訓練以外にも毎月実施。

## 保護者による評価

## ○環境面

専門性のあるスタッフの助言で助かっている。という意見を頂いています。

## ○児童への支援内容

支援の内容にかんしては、特に疑問や意見はありませんでした。

## ○事業所からの情報発信

特別にコメントはいただいていませんが、出来ているという評価が多く、保護者様同士の交流という部分に関しては、出来ていないというアンケート結果も数件頂きました。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・児童に対して職員の感覚での関わりではなく、理論的に関わり方を統一したため、児童の行動に変化が見えてきた
- ・ブログでは障害に関する内容だけでなく心理学の内容もアップしており面白いとの反応が増えた。
- ・児童の成長と共に保護者様のニーズも高まってきているため、支援者の質の向上が必要となってきた

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

ABA の考え方をベースとした支援を取り入れている。  
毎日の指導記録を残しているため、児童の様子の振り返りに活用できると共に、保護者様に配布する事で共通認識が図れている

活動の報告だけでなく、事業所での支援の内容や方法などをブログ等で発信している。

障害の知識と共に心理学の知識を全スタッフに落とし込みをして関わり方の統一を図っている。

曜日ごとに支援のターゲットを設定する事で、利用希望する方々がどの曜日を希望すればよいのかわかりやすくなっている。

### 事業所の改善点

児童・保護者様の満足度は上がってきているが支援の質の向上のために外部研修なども増やしていく必要があると考えている。

### 事業所の改善への取り組み

- ・今年度より本郷台のみで取り組んでいる支援記録の内容をブラッシュアップして、支援への活用と共に保護者様が子育ての中でも活用できるツールにしていく。
- ・事業所としての軸となる考え方を浸透させ、共通のビジョンで支援をしていく。
- ・事業所職員全体で法令を遵守した適切な事業所運営を行っていくための研修を実施していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回、アンケートを行う事により、以前よりも満足度は上がっていると感じたと同時に、個の力に頼った支援方法に限界も感じ始めています。個々に合わせた支援を提供できるように職員全体のスキルアップを図れるような環境を作れるかが課題となると感じました。今回の貴重なご意見も踏まえて、ハートリンク本郷台がご利用者様からより信頼され必要とされる事業所となれるように、今後の事業所の在り方等をスタッフと共に考えていきます。